

普及現地情報

発信年月日：令和2年(2020年)6月22日
所属名：湖北農産普及課
番号：G20009
部門分類：170(花き)
発信者名：北村、兼房

小菊の現地巡回を実施しました



JA レーク伊吹と JA 北びわこ両管内の花き部会員の小菊栽培ほ場（JA レーク伊吹管内：栽培者数 34 名、JA 北びわこ管内：栽培者数 23 名）を 6/3～6/11 にかけて現地巡回しました。例年は部会員と一緒に全ほ場を巡回しますが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のため JA 担当者と普及指導員が移動して各生産者のほ場で指導しました。

湖北地域では、お盆やお彼岸向け小菊の定植が終わり、JA 北びわこ管内では既に 6 月咲き品種の出荷が始まっていて、出荷本数、価格とも例年並みの市場取引が行われている状況です。

現地巡回では、計画的な市場出荷に向けて、品種ごとの栽培面積、栽培管理状況、病虫害の発生等を確認しました。また、『小ギク情報紙』を配布し、開花時期に応じた生育管理を説明しました。

定植からこれまで雨が少なく、灌水が不足しているほ場ではやや草丈の伸長不足が散見されました。また、病害の発生は少ないものの、アブラムシやグンバイムシの発生が見られ、防除するよう助言しました。

これから梅雨時期の大雨や梅雨明け後の高温が心配される時期を迎えますが、確実な収穫と出荷につながるよう、関係機関と連絡を密にした活動を継続します。



8月咲きの生育状況



栽培ほ場で生産者と情報交換